

企画1 レインボー・ブックフェア&座談会

開催：2020年6月27日

場所：ZOOM開催

共催：くまのみ、クツシタカラ、グローバル・コンサーン研究所

出口 真紀子

レインボー・ブックフェア：LBGTQ+、性的指向・性自認の多様性を考える

コロナ禍という未曾有の状況下、活動が限られる中で私たちにできることは何かを考え、グローバル・コンサーン研究所で例年秋学期に開催しているブックフェアを、少し時期を早めて春学期に開催することにしました。また、毎年テーマを立てて中央図書館1階の展示スペースなどでブックフェアを開催してきましたが、自由に図書館に出入りすることができないため、初の試みとしてオンラインで開催しました。

男性/女性や異性愛/同性愛といった二項対立に回収されない、境目のないグラデーションである性自認と性的指向を副題に置き、多様な性自認・性的指向とそれらを取り巻く社会状況と制度について知り、学ぶための書籍と映画を紹介しています。上智大学の現役の学生から、卒業生、大学院生、教職員まで、多くの方々が幅広い選書をしてくださいました。図書館や研究所の蔵書もチェックできるようになっています。

オンライン・ブックフェアのリンク：<https://dept.sophia.ac.jp/is/igc/detail.php?n=2020226>

上智大生座談会 ～おすすめのこの作品～ レインボー・ブックフェアによせて

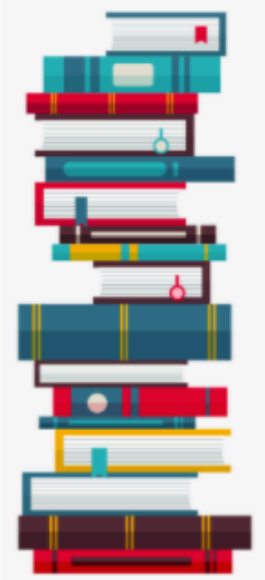
ブックフェアを準備するにあたって、ただ本を紹介するだけでなく、セクシュアル・マイノリティを歓迎する大学であることを感じてほしい、差別をなくすための活動をしている学生団体を知ってもらいたいという意図もありました。また、こういう時だからこそ安心してなんでも話せる時間・場が必要だと考えました。そこでオンライン・サイトのオープンにあたり、選書にも協力してくれた上智で活動する2つの学生団体を迎えたオンライン座談会を開催しました。

以下が当日のグラウンド・ルールとして提示したものです。

- ・ 名前は実名でも仮名でも OK（申し込み用フォームに事前に記入）
- ・ ビデオ／マイクはオン・オフどちらでも OK（申し込み用フォームに事前に記入）
- ・ 個人と個人の対話の場に
- ・ お互いの意見を尊重する。「違う」ではなく「私はこう思う」

- ・ 安心できる場に。聞いたことを言いふらさない
- ・ 性自認/性的指向を無理やり聞き出そうとしない
- ・ 言いたくないことは言いたくないと言える雰囲気確保

図1 当日の流れ



本日の流れ

あいさつ、企画趣旨説明と本日の流れ (司会：出口真紀子、教員)

ルールの確認

1. LGBTQ+の紹介
2. 座談会：上智生の自己紹介 (クマノミ、クツシタカラ)
オススメの書籍・映画とお互いの感想
3. ブレイクアウト・セッション・・・15分
(上智生のファシリテーターとして各ルームに配置)
座談会の感想を言い合ったり、質問など何でも聞いてください
4. メインルームに戻って質疑応答タイム
みなさんから事前にいただいた質問にお答えします。
チャットで質問受付係が質問を受付ます
5. まとめ：クマノミ、クツシタカラの代表から一言
アンケート調査実施 イベントの感想や今後やってほしい企画などあれば！
ブックフェアの告知
残りたい人は15分ほど延長可 17:50には終了します。

座談会には24人の参加があり、終了後のアンケートでは「これからもこのようなイベントがあれば参加したいですか？」という質問に「はい」という回答が100% (回答者20名) という満足度の高さと、オンラインだからこそ可能になったビデオオフ、音声オフの参加を評価する声もありました。アンケートを受けて運営側も、少人数のグループで話し合う更なる機会や、アライのためのイベントなどの必要性を再認識し、オフラインも含めた今後のイベント案の土台を固めることができた、大変意義深いスタートになりました。